



葛飾区協働

2020年版

事例集

みんなで育てる、協働のまち葛飾



葛飾区協働事例集

発行日： 令和2年3月
 発行： 葛飾区
 〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1
 電話 03-3695-1111 (代表)
<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集： 葛飾区政策経営部政策企画課
 電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社 Jリポート



葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてまいりました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取り組みが広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、22団体に取材をさせていただきました。

今回で6冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取り組みやそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

令和2年(2020年)3月
葛飾区長 青木 克徳

葛飾区における協働とは、

特定の目的に向けて葛飾区と連携するものだけに限らず、

「葛飾区をより良いまちにしようとする活動すべて」を

広く協働としてとらえています。

つまり、様々な活動をする人や団体などが、

地域を良くしようという思いを持ち、

お互いに理解・尊重しながら活動することが、

葛飾区をより良いまちへとしていくための一歩になります。

みなさん一人ひとりが考える

「葛飾区をより良いまちにしようとする活動」に

取り組んでみてはいかがでしょうか。



書風さまざま 葛飾現代書展 書道芸術を区民が楽しむ	葛飾現代書展実行委員会	31
昔の歴史 酒造り 米作り を後世に… これは美味しい! 特別純米酒葛飾の花	葛飾酒作り本舗	33
誰でもできる NEWスポーツ 普及を目指す スポーツ推進委員	葛飾区スポーツ推進委員協議会	35
スポーツ団体が勢ぞろい! 総合開会式&ジュニア シニアスポーツ教室	エンジョイスports実行委員会	37
釣れた! 親子で楽しむ 葛飾区子ども釣り大会	葛飾区釣友連盟	39
昭和56年から続く協働の先駆け 今も人気! 亀参まつり	亀有学び交流館利用団体協議会	41
かつしかふれあいRUNフェスタ参加者に 地域ぐるみでおもてなし	堀切商店連合会	43
防災と音楽に集う! 細田四町会が紡ぐ地域の絆	細田四町会合同 ふれあい祭り一絆一実行委員会	45
ズラリ葛飾区認定製品 ミライをテラス逸品揃い	葛飾区認定製品販売会 かつしかミライテラス	47
人材育成課からのお知らせ ・採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!!		49
協働推進担当からのお知らせ ・葛飾区職員出前講座のご案内 ・葛飾みんなの協働サイト		51
協働のまち葛飾 下町川柳コンクール ・入賞作品発表		53

葛飾らしい協働		1
区長あいさつ		2
子どもも大人も…地域ぐるみで 災害時に役立つ居場所づくり	防災コミュニティスペース えま いま Eme-Ima	5
子どもたちが豊かに育つまちに! 親子で楽しむ子育てフェスタ	子ども・子育てフェスタかつしか 実行委員会	7
振り込め詐欺から高齢者を守れ 犯罪撲滅へ“ナイスかめあり”	亀有防犯指導員ネットワーク 「ナイスかめあり」	9
交通遺児のために… ダンスパーティー&焼きとうもろこし販売	亀有交通安全婦人友の会	11
花の香りがやさしいまちに… 地域ぐるみの環境美化	亀有花風船の会	13
心理療法 昔を想い・語る! 回想法で認知症を予防	葛飾回想法トレーナーの会	15
高齢者の引きこもりを解消 みんなで集う いきいきサロン	堀切ふれあい会	17
お風呂でゆったり乳がんチェック! 広がれ! 自己触診法	NPO法人 ^{リュバン} ^{ローズ} Ruban Rose	19
元気な生産者たちがつくる かつしか元気野菜と地域貢献	JA東京スマイル葛飾営農研究会	21
生態系を壊す外来生物を駆除! 自然保護の大切さを学ぶ	NPO法人 水元ネイチャープロジェクト	23
高齢者や障害者に 人気です! 住宅の無料修繕	一般社団法人 葛飾建築協会	25
水元地域のバス交通充実 バス路線の新設&バス利用者用駐輪場の設置	東武バスセントラル株式会社	27
視覚障害者を支える 話題の本 絵本などの点訳ボランティア	かつしか点訳の会	29

災害時に役立つ居場所イベント

子どもも大人も…地域ぐるみで



毎週月曜日は
こどもの居場所づくり
えまいまキッズカフェ



道上小学校での
宿泊訓練



地元の方と
流しそうめんイベント



キッズ向け
プログラミング
体験



被災地支援!
段ボール瓦作り!!



防災ワークショップで
HUG体験



台風被害に
備えた土のう



佐藤 純さん

岩崎 緑璃さん

防災コミュニティスペース Eme-Ima(えまいま)では、災害時にも役立つイベントなどを開催して地域の人々の居場所づくりを進めています。

「EMERGENCY(緊急事態)に、今(IMA)備える」という意味の「コミュニティスペース」では、非常食の食べ方や、ロボットを制御するキッズ向けプログラミング体験などを行い、子どもたちやその親世代で賑わっています。

また、子どもたちの第3の居場所として、えまいまキッズカフェを運営。子どもたちは色々な体験をしながら、オヤツ作りを楽しんでいます。



非常食でつくった
美味しいランチ!

顔が見えたい、相手を知ったり…それがいちばんの“災害対策”です

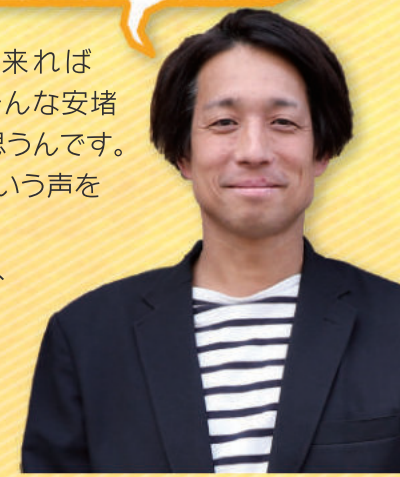
活動を始めて3年が経ちます。最近実感しているのは、日頃のつき合いで顔が見えたり、相手のことを知ってコミュニケーションを取ることができたり…。それが地域にとって、いざという時の、いちばんの災害対策かなあ、って思います。

自然なかたちで、人とのつながりが築けたりすることって、大事ですね。

この場所には、町会の方やNPOの方、そしてこの場所を使って教室をしたり、かつしか子ども食堂の方たちも来ます。パン屋さんも差し入れに来てくれるんですよ。

子どもたちも、ここに来れば知っている顔に会える、そんな安堵感みたいなものがあると思うんです。実際、「楽しい」「面白い」という声をよく聞きます。

いろんなゲストがいて、学校では会えない大人たちともコミュニケーションが取れる。こうした場所を、皆求めているのではないか、と思います。



代表 森谷 哲さん

POINT 1
防災コミュニティ
スペースの運営

POINT 2
小学校での宿泊など、
避難所の疑似体験

POINT 3
避難所運営シュミレーション
ゲームを使った啓発活動

親子で楽しむ子育てフェスタ
子どもたちが豊かに育つまちに！



おもちゃのひろば
カプラで積み木

プログラミング体験



親子連れに大人気！
なつパーチと
うきうき音楽で
遊ぼう



0.1.2歳の
よちよち広場

大型絵本の
読み聞かせ



保育園・幼稚園
相談コーナー

子ども・子育てフェスタかつしか実行委員会は、子どもにやさしいまちづくり・ゆつくり子育て・ゆつたり子育てをテーマに、「子ども・子育てフェスタかつしか」を毎年開催しています。フェスタは、実行委員会とかつしか子育てネットワークが主催し、令和元年9月で5回目を迎え、健康プラザかつしかで開かれました。5回目になるとリピーターが多く、開場前から長蛇の列ができ、3000人近くの来場者で大盛況でした。

会場には、自分の家には無いようなおもちゃがいっぱいの「おもちゃのひろば」や、親子で楽しめる音楽ステージ、プログラミングやミュージカル、工作などの体験コーナーなど、赤ちゃんから大人まで楽しめるプログラムが盛りだくさん。中でも、音楽ステージや体験コーナーは人気が高く、整理券を求めて行列ができました。

また、区や民間団体の子育て支援情報などが展示され、子育て中の親たちが真剣に見入っていました。

実行委員会は、多くの参加団体や区・教育委員会と協働して、より安心して子どもを産み育てられ、子どもが豊かに育つ環境づくりを目指して、フェスタを企画・運営しています。



来場者で大盛況でした。

会場には、自分の家には無いようなおもちゃがいっぱいの「おもちゃのひろば」や、親子で楽しめる音楽ステージ、プログラミングやミュージカル、工作などの体験コーナーなど、赤ちゃんから大人まで楽しめるプログラムが盛りだくさん。中でも、音楽ステージや体験コーナーは人気が高く、整理券を求めて行列ができました。

当日喜んで帰っていく子どもたちの顔を見ると、疲れが吹っ飛びます

毎回とてもたくさんの方に来ていただいています。リピーターも増え、コンサートなどはあっという間に席が埋まるようになりました。回を重ねるごとに、ふらっと立ち寄る人より、目的を持って来る人が増えているようです。

「おもちゃのひろば」や「音楽ステージ」は、子どもたちが夢中になって楽しんでます。

子どもの遊びや、子育てに関する講演会などの学びの場も、パパママに好評なので継続していきたいです。

当日喜んで帰っていく子どもたちの顔を見ると、その時だけ疲れが吹っ飛びます。

当日は無事終わった高揚感で、ビールがおいしいこと(笑)。翌日疲れがどっと出ます。でも、またやりたい気持ちになります(笑)。

駐輪場がパンクしたり、想定外の出来事で、イベント中は大忙しですが、何よりも事故が無いようスタッフ一同細かい注意を払って運営しています。



事務局 篠原 淑子さん



代表委員
坪井 博一さん



音楽ステージ
なつパーチのわくわくシアター

POINT 1
音楽ステージなど、親子で楽しめるプログラムが盛りだくさん

POINT 2
30を超える団体が参加

POINT 3
子育てなどの相談コーナーを設置

犯罪撲滅へ「ナイスかめあり」

振り込め詐欺から高齢者を守れ



亀有防犯指導員ネットワーク「ナイスかめあり」は、警察や防犯協会と連携し、駅などでの防犯啓発活動や、昼夜間の地域パトロールを行っています。



「ナイスかめあり」は、金町駅や亀有駅、柴又駅前などで、犯罪被害を防ぐために、「振り込め詐欺」に注意していただくティッシュなどの啓発グッズを配っています。また、自転車にひつたり防止カバーを取り付けるなど、防犯意識を高めるためのキャンペーン活動も行っています。

活動が長く続いているのは、多くの方の“感謝”があるからです

ある日突然、支払いの督促状が来て「数日後に裁判だ」、なんて言われたらお年寄りにはびっくりしてしまいますよね。
振り込め詐欺の手口はますます巧妙になっています。だから私たちは、青色防犯パトロール車に乗って、詐欺の手口を広報しているんです。「そういうことを教えてくれて、ありがとう」などと、お年寄りたちからは感謝されています。ずっと貯めてきたお金を、取られちゃうんですから。それを食い止めないよね。
振り込め詐欺は、減るところか増えてま

すよね。相手も研究して、言葉巧みに誘うんですから。
青パトに乗って、自転車盗難の注意をしている時、「ありがとう」といって1000円くれようとした人がいました。もちろん受け取りませんが、そんな気持ちが嬉しいですね。
この活動は25年続いています。会員さんも高齢者が多く、体調が悪い人もいます。活動に駆り立て、続けているのは、多くの方の“感謝”があるからです。



会長 山勝 正久さん



青色防犯パトロール車で詐欺手口を広報



犯罪防止のための啓発グッズ(笛やティッシュ)

地域の安全安心を支えています。

平成30年には、区の犯罪発生件数が初めて4000件を下まわり、地域団体のこうした活動が、

ティア活動も行っています。

特に一人暮らしの高齢者を狙った振り込め詐欺については、青色防犯パトロール車で代表的な詐欺手口を広報して回っています。固定電話を家にいる時でも留守番設定する、年金や還付金のがきが届いたら、家族や警察に相談するなど、具体的な対策も伝えています。

その他、葛飾で行われる様々なイベントへの参加や屋外違反広告物の撤去作業など、積極的な防犯ボランティア活動も行っています。

自転車の盗難防止キャンペーン活動



駅前での啓発ティッシュ配り

POINT 1

警察などと連携し、振り込め詐欺の手口や対策を指導

POINT 2

自転車の盗難防止キャンペーン活動

POINT 3

各種イベントでの防犯ボランティア活動

交通遺児のために…

ダンスパーティー & 焼きとうもろこし販売



交通安全婦人友の会の啓発活動

亀有交通安全婦人友の会は、交通ルールを守り、事故を減らそうと、交通遺児のためのチャリティーイベントや、交通安全の啓発活動を行っています。

友の会の発足は昭和53年で、現在は会員は80人います。主な活動としては、昭和58年から交通遺児のためのチャリティーダンスパーティーを区と共催しています。昨年は、金町地区センターで開かれました。

約120人が参加し、華やかなドレス姿が会場のあちこちに花を咲かせ、プロのダンサーが華麗なステップを披露しました。

また、交通安全週間には、亀有警察署などと交通整理や、交通安全の呼び掛けなどを行い、水元菖蒲まつりでは水元公園で交通マナーの順守

「ご苦労様です」という声が多いので、活動が長く続けられます

焼きとうもろこしの販売は、準備がすごく大変ですが、会員の皆さん、当日はびっくりする程の大声を張り上げてやっています。面白いですよ。これがまた、1日何百本と売れるんです。「美味しい」と評判で、毎回ほとんど完売です。今や、いちばんの活動資金になっています(笑)。

活動が長く続いているのは、楽しいからだと思います。会の仲間同士でお食事会や旅行をしたり、「また来月会えるね」などと話せたり…。今や、生きがいになっています。

ダンスパーティーは、参加者の皆さん、綺麗なドレスを着るのが楽しみだったりして、すごくノッて踊っています。参加者も、主催している私たちも楽しみにしているイベントなんです。

それと、交通安全の啓発活動は、呼び掛けをしても無視されることもありますが、皆さんから「ご苦労様です」と言われることが多く、そうした声があるから長く続けられるんですね。



会長 宇田川 幸野さん



大人気です！
焼きとうもろこし



チャリティーダンスパーティー



を訴えながら、焼きとうもろこしを販売しました。

ダンスパーティーと焼きとうもろこし販売の収益金は、区を通じて交通遺児に寄付されており、これまでの総額は、450万円を越えています。

友の会の歴史ある活動は、地域にもすっかりお馴染みで、交通事故撲滅への大きな力になっています。



友の会発足40周年の記念に



亀有警察署での勉強会



高橋 久子さん 矢作 茂子さん 小池 喜美子さん 加藤 信子さん

交通遺児のためのチャリティーダンスパーティー

警察などと協働した交通安全の啓発活動

焼きとうもろこしの販売

花の香りがやさしいまちに…
地域ぐるみでの環境美化



亀有花風船の会
メンバーの皆さん

亀有花風船の会は、社会福祉協議会が進める「小地域福祉活動」として、参加者同士の「ふれあい」や「たすけあい」の関係づくりを旨とし、「花とつくるふれあい活動」をテーマに、JR亀有駅前の花壇の手入れや清掃活動など、環境美化に取り組んでいます。



連合町会や民生委員、高齢者クラブなどの団体から構成されるメンバーは85人。8班に分かれ、毎週水曜日と土曜日、JR亀有駅の南北駅前花壇の水やりや、花がら摘み、そして周辺の清掃を行っています。

道行く人に、もっと花を楽しんでもらいたい気持ちがいっぱいです

お花を植え替えて、その都度違った花を見ることができるのは、皆さん、とても楽しみにしているみたいです。

「あのお花、なんていう名前ですか」とか、「きれいな花だから、また植えてもらえますか」などと、道行く人たちから話しかけられます。人気があるお花は、ペチュニアとかセロリアスマートルックなどです。

以前は、女性の方が多く声をかけてくれたんですが、最近は男性も気にかけてくれる方が多くなってきました。駅前で人通りの多い場所でやっていますから、お花の手入

れや、清掃活動が目立って、活動が浸透してきたんでしょうか。

この活動で大変なことは夏の水やりと、酔っ払いがいたずらしちゃうことですね。でも、ほとんどの人がお花が咲くのを楽しみに待っていてくれるんです。

期待が大きいと、とても責任を感じます。道行く人にもっと花を楽しんでもらおう、という気持ちがますます強くなってきました。



佐藤 正治さん



花植えイベント
植え付けの解説



亀有地区小地域福祉活

亀有花風船の会

花壇に植える花は、毎回およそ720株で、例えば、ペチュニアやセロリアスマートルックなど、手入れがしやすく見栄えのいい花を選んで植えています。

花風船の会は、区の「緑と花のまちづくり推進事業」とも連携し、太陽光発電による「フラワーメリーゴーランド」の手入れもしています。区の花壇「コンクール」にも第1回からエントリーし、毎年入賞しています。

また、メンバーたちが楽しみながら長く活動を続けられるように、健康体操や講演、合唱など、メンバーのためのお楽しみイベントも開いています。イベント内容などを知らせる花風船通信を、会員向けに毎回発行し、配布しています。



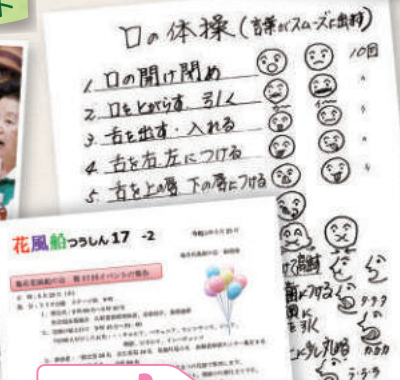
メンバーのための健康体操イベント



寄せ植え



口の体操



榎本 武明さん 近藤 文子さん

POINT 1
亀有地区の連合町会など地域ぐるみで「花とつくるふれあい活動」を展開

POINT 2
週2回、JR亀有駅前の花壇の手入れや清掃活動を実施

POINT 3
区と協働し、「緑と花のまちづくり推進事業」と連携

心理療法 昔を想い・語る！

回想法で認知症を予防



グループ
回想法で
仲間と共有の
話題を楽しむ



葛飾回想法トレーナーの会は、区民の健康寿命を推進するため、昔の経験や思い出などを語り合いながら介護予防ができる「回想法」を広めています。

回想法は、一種の心理療法です。脳が活性化され、認知症進行の予防になると言われています。

会には区の講習会を修了した約50人の回想法トレーナーが在籍しており、地域の参加者と共に、回想法を行っています。参加者は、それぞれテーマに沿った昔の経験や思い出などを語り合い、トレーナーが聴き手となって進行します。その場だけの

昔の話でいちばん盛り上がるのは“恋バナ”。恋の話です(笑)

地域での自主グループ活動は、お年寄りの参加者が多いです。参加者は多すぎてもダメで、8人くらいがベストです。

毎回テーマに沿って話します。テーマはなるべく簡単に、例えば「会いたい人」とか、「懐かしい玩具をつかったの思い出話」とか。いちばん盛り上がるのは、「恋バナ」です。恋の話ですよ(笑)。聞いている方が恥ずかしくて、「どうしよう!」って思う時もあります。参加者の若くてきれいな時の話だから、笑ったら失礼だと思いつつも、笑っちゃうんです。楽しくやりたいので、テーマに縛られすぎ

ず、ちょっとブレながらやります。適当なところで話を戻すのが私達の役目です。だから、とても集中力が要るんですよ。

地元の高校にも、回想法をしに行きました。いじめなどの苦しい体験談が多くて驚きました。聴き手が私たちおばあちゃんだから、気兼ねなく話せるのかもしれないですね。皆、心が解放されて、明るい表情で帰っていききましたよ。

会長 由井 秀子さん



あこがれの人、故郷自慢など…話はつきません

話と限定されるので、話が弾み、心が解放されると参加者に評判です。介護施設の依頼などを受け、回想法を実施することもあります。

また、区主催の回想法講座に協力したり、シニアフェアなどで体験会を実施しています。

毎年秋には、専門講師を招き、回想法の学習会を開催して、スキルアップにつなげていきます。その結果、平成28年に行なわれた、回想法の全国大会である「第4回地域回想法サミット」での活動報告が、関係者から高い評価を受けました。

お楽しみ忘年会でのパフォーマンスは全員で参加!



転倒防止を兼ねた体操も!



ハーモニカ演奏の交流会



堀切菖蒲園の散策会



風間 トシ子さん

福岡 晃子さん

POINT 1
回想法体験会を実施

POINT 2
回想法講座・養成講座(区主催)でのボランティア協力

POINT 3
専門講師を招き、回想法学習会を開催・講演活動

高齢者の引きこもりを解消

みんなが集う

いきいきサロン



サロンには、話し合える仲間がいっぱい!

堀切ふれあい会は、高齢者の引きこもりを解消し、地域コミュニティの活性化を図るため、高齢者が気軽に集まれる「いきいきふれあいサロン堀切」を開設しています。サロンは、月曜日から金曜日の13時から16時まで開いており、堀切地区センターにあります。

サロンは、家に引きこもりがちな高齢者に、地域の仲間と話し合える機会を提供、コーヒーなどを飲みながら、気軽に談笑できる雰囲気、人気は上々です。

また、保健所から講師を招いて健康講座などを実施し、自主的な介護予防活動が活発に行われています。

さらに、折り紙教室や、絵手紙教室などの



自分のことを聞いて欲しい方が多いです。聞いてあげると喜ばれます

このサロンの参加者たちは、「ここにきて友達ができた」「こんな良いところがあったんですね」と喜んでいきます。わざわざ遠いところからバスで来る人もいます。お友だち同士で来る人が多いですが、一人で来る人もいます。自分のことを誰かに聞いてもらいたいと思っている方が多いですね。スタッフが話し相手になって聞いてあげると喜ばれます。そういう意味では、話し相手ができ満足できる場所になっています。一人で来るのって、勇気がいると思うんです。でも、このサロンでつながりができて、

今まで知らなかった人とも会話ができるようになると、楽しくなるようです。人間関係がうまくいかなるときも、たまにはありますが、そういう時は、スタッフが相談相手になってあげます。コーヒーを飲みながら、皆さん楽しそうな雰囲気、話し合っている光景を見ると、「ああ、やってよかったなあ」と思います。



代表 伊藤 徳子さん



イベントも年10回開催され、サロンには、参加者の作品がずらりとならんでいます。



サロン参加者には、名前と緊急連絡先を登録してもらい、

登録者は、1300人に上ります。スタッフは、2か月に1回、イベントのアイデアや日々の運営に関する改善案などを話し合う機会を開いています。

ふれあい会は、社会福祉協議会が支援する堀切地区小地域福祉活動の一環として、関係機関や地域と連携・協働して活動を行っています。



補佐役も務めた 飯塚 愛子さん

血液サラサラ健康学講習会



POINT 3
社会福祉協議会とも連携・協働

POINT 2
健康講座、折り紙教室、絵手紙教室を開催

POINT 1
引きこもりの解消などを図る、いきいきふれあいサロン堀切を開設

お風呂でゆったり

広がれ!

自己触診法

乳がんチェック!



自己触診で使う
アロマ石けんづくり



アロマ石けん

乳がんの自己触診法は、月に一度、お風呂に入った時にアロマ石けんを使い、3・4本の指で

確認する自己触診法の体験コーナーが設けられ、訪れた女性たちが実際に体験していました。

健康プラザかつしかで令和元年11月に開かれた「健康食育フェア」では、乳がんのマンマチェック(自己触診)で使用する「アロマ石けん」づくりや、実際に乳房の模型にふれてしこりを確認する自己触診法の体験コーナーが設けられ、訪れた女性たちが実際に体験していました。



代表理事 / 看護師
飯田 智子さん

活動をはじめて7年、4人の方の乳がんが見つかっています

2012年からこの活動をやって来て、これまで4人、乳がんが見つかっています。そういう方々からは、「まさか自分が乳がんになるなんて…。早く見つけれられたので、早い社会復帰ができました」と感謝されています。乳がんは、初期に見つけると約90%は治ると言われているんですよ。実は、私自身も看護師時代に、温泉でリフレッシュしていたときに乳がんを見つけたんです。乳がんは、女性の中でいちばん多いがんですから、2年に1回の検診はもちろんですが、まずは自分の体を気遣って欲しいですね。

そこで、お風呂での自己触診法をオススメしています。お風呂って、みなさんゆっくり入らずに“仕事”しちゃってるんです。明日の仕事のこととか子育てのこととか。もっとゆっくり入って、しこりがあるか確認して欲しいんです。(本文参照)他に、「大人のがん教室」を開いています。乳がんだけでなく、子宮がんとか子宮頸がんなどを、もっと知りたいという声が多いですね。

マンマチェック用乳房の
模型でしこりの感触を…



自己触診法を学ぶミニ講座

リュバンローズでは、他に女性のための健康教室や、特別講演会「大人のがん教室」などを開き、乳がんについての啓発活動を行っています。



「の」の字を書く要領で中心から上下左右に押しながら指をすべらせませす。石けんのすべりがあるとしこりも見つけやすく、アロマの香りが漂うお風呂で、ゆったりと癒されながら身体力を抜いて行くと、発見率も高くなるそうです。



小学校で、がん教育



みなさん熱心に話を聞いていました

POINT 1
乳がんのマンマチェック(自己触診)の普及啓発

POINT 2
自己触診で使うアロマ石けんづくり

POINT 3
講習会などで、乳がんの啓発活動などを行う

元気な生産者たちがつくる

かつしか
元気野菜

と地域貢献



毎年恒例! 野菜で大きな宝船をつくりました



産業フェアでは、子どもたちもたくさん訪れ、楽しみました



年2回の野菜品評会
即売会も大賑わい



JA東京スマイル葛飾営農研究会は、区内で農業を営む農業後継者組織で、栽培技術の研究や区内で開かれる様々な産業イベントに参加して、新鮮な「かつしか元気野菜」を販売し、葛飾農業をPRしています。

毎年10月に開かれる葛飾区産業フェアでは、「かつしか元気野菜」の小松菜やねぎ、ブロッコリーなどがズラリと並び、生産者自らが販売し、訪れた家族連れなどから「安全・安心」と大人気です。また、とれたて野菜で飾り立てた大きな「宝船」も会場の一角に展示され、



子ども食堂へ野菜を寄付



かつしか
元気野菜
ロゴマーク
キャラクター
元気くん

飾った野菜は、子ども食堂やポニースクールに寄付されています。スタンプリーフ形式で大根や小松菜などの野菜の収穫体験ができる「野菜収穫オリエンテーリング」も毎年行っています。約140組が参加し大賑わいです。野菜嫌いな子どもも、自分で収穫した野菜なら食べると好評です。

夏と秋には、野菜の品評会を行います。各農家の技術向上に役立っています。葛飾営農研究会では、農地を減らさないためにも、農業後継者の育成に力を入れています。

農業後継者の育成を…家族が農家を継げば、農地は減りません

おかげさまで「かつしか元気野菜」は好評です。即売会では、「この小松菜は、水元で採れるんです」と、生産者が説明しながら販売しているので、お客さんは親しみを持って買っていきます。採れて間もない野菜は、やっぱり美味しいですからね。そうした声をお客さんにかけてもらうと、とてもやりがいを感じますね。

営農研究会の会員は、農作物の栽培技術などを熱心に研究していて、研究会が意見交換や情報交換の場になっています。

特に生産緑地の更新手続きの時に、行う説明会は、各農家で農業の将来などを話し合うきっかけになっています。家族が農家を継ぐとなれば農地も減りませんからね。

ビニールハウスでの避難訓練の時は、小松菜を味噌汁にして非常食にできるとアピールしました。皆さん、災害時にハウスに逃げ込んでいいんだね、と訓練を楽しんでいました。



会長 細谷 純一さん



野菜収穫オリエンテーリングは毎年人気です

農地の活用策!ビニールハウスでの避難訓練



POINT 1
かつしか元気野菜の
生産・販売

POINT 2
収穫体験のできる「野菜
収穫オリエンテーリング」
を開催

POINT 3
農業後継者の育成

生態系を壊す外来生物を 自然保護の大切さを学ぶ

駆除!



子どもも親も興味津々
外来種駆除イベント
(都立水元公園ハス池)



昆虫の標本づくり



亀捕獲用トラップを設置
(都立水元公園ハス池)



セミの羽化教室



セミの羽化



外来種の駆除(古隅田川)

カミツキガメを捕まえる!
捕獲トラップを設置
(都立水元公園小合溜)

セミの羽化の観察会や、ザリガニ釣り、昆虫の標本づくりなどのイベントも開催し、自然環境保護への関心を高めています。

緑化フェアや東立石緑地公園でのイベントなどで展示し、区民が外来生物の生態を知り、環境保全の大切さを理解する機会をつくっています。こうした展示は、外来生物の中でも、特に環境への影響の大きさがよくわかると好評です。また、自然再生された河川敷などで、生物がどのようにに生息しているかを観察する自然観察会も行っています。参加者に、在来生物がどのように戻ってきたかなどを詳しく解説します。その他、セミの羽化の観察会や、ザリガニ釣り、昆虫の標本づくりなどのイベントも開催し、自然環境保護への関心を高めています。



ブラックバス



ブルーギル

水元ネイチャープロジェクトは、都立水元公園を中心に、区内の自然環境保護のため、生きものの調査や外来生物の駆除などを行っています。

メンバーたちは、月2回、水元公園や古隅田川、曳舟川親水公園などで、ブルーギルやブラックバス、カミツキガメなど外来生物の駆除活動をしています。駆除は、20年近く続いております。最近では区内でブルーギルの数が少なくなったそうです。

捕獲した外来生物は、かつしか環境

活動は、“できることを、できる人が、できる範囲で”やっています

駆除した外来生物の展示では、「こんな生きものが日本にいるんだ」とか、「外来生物って、生態系を壊すんですね。駆除するのは大変でしょ」となど、よく言われます。駆除は、釣り上げる方法とか、“かいぼり”といって池の水を抜き、生態系を回復させる方法などでやっています。泥んこになって、目の周りだけ白くなっちゃったりするんですが(笑)、楽しいですよ。

“できることを、できる人が、できる範囲で”というのが基本的な姿勢ですから。ブルーギルがいなくなっているのは、活

動の成果かなって思います。

今、いちばんの問題は、カミツキガメです。この前駆除したのは大きかったですよ。体長が50センチ程あって、卵が50個ありました。

私たちの活動で応募がたくさんあるのは、セミの羽化の観察会です。皆さん、町の中でセミがいっぱい羽化しているの知らないんです。参加者は親子連れですが、子どもより親のほうが夢中になっています(笑)。



理事長
市原 みずよさん

POINT 1
自然環境の保護・保全をはかる生きもの調査

POINT 2
外来生物の駆除

POINT 3
区との協働で生物多様性や外来種の啓発イベント実施

高
齢
者
や
障
害
者
に

人気です！

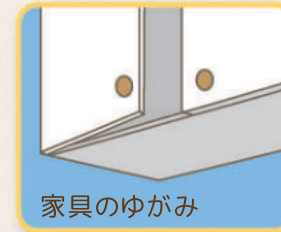
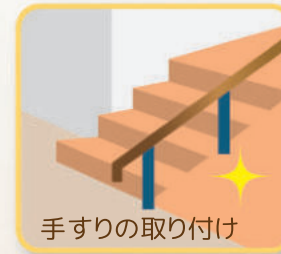
住宅の無料修繕

区庁舎の敷地内に住宅修繕窓口を設置



(一社)葛飾建築協会は、高齢者や障害者を対象に住宅の無料修繕ボランティアに取り組んでいます。毎年9月中旬に、区役所に特設窓口を設置し、協会員が修繕申し込みの受付を行っています。令和元年度は25件の依頼がありました。多い年には40件程にもなります。

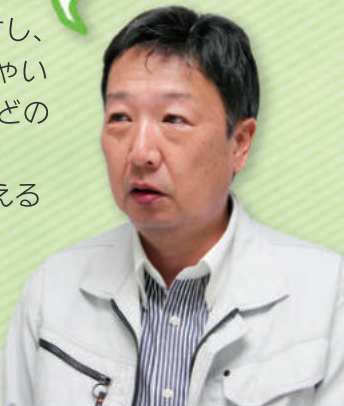
修繕内容は、階段に手すりを取り付けたり、きしんだ建具の調整など、作業時間が2時間程度の軽微な修繕で、材料費がかかる場合は、依頼者が負担します。協会に所属する工



私たちの無料修繕は、区との協働事業なので、皆さん信頼してくれます

この修繕サービスは、高齢者の方々にとっても喜ばれています。今、高齢者を狙った詐欺まがいの電話が多い中で、どこに頼んだらいいか、迷っている方も多いためです。協会が、区のバックアップを得てやっているこの事業は、信頼してもらっています。「建具がきしむので、調整してほしい」などと、ささいな修繕の申し込みもあるんですが、そうした小さい仕事を業者さんに頼むまでもないので、協会が窓口を設けてお手伝いしているんです。毎年、申し込みが始まる時期を、楽しみ

にしている高齢者の方もいますし、リピートの方もかなりいらっしゃいます。「来年もお願いします」などの声もいただきます。我々も、皆さんに喜んでもらえるなら、もっと地域貢献をしよう！という気持ちがあります。1人住まいの方が多く、修繕はもちろんですが、話をしているだけでも喜ばれています。話し相手が欲しいんですね。



会長 三村 徹也さん



務店等26社で、地域ごとに担当を割り振り作業にあたります。

修繕の対象者は、区内在住で世帯全員が70歳以上の方、または、身体障害者手帳2級以上をお持ちの方がいる世帯です。

利用者の中には、どこに頼んで良いか分からなかったという人も多く、とても重宝がられています。

また、地震に備えて、家具の転倒防止対策費用に関する補助金申請の窓口業務も行っています。申請方法の分からない高齢者や障害者の方のために、書類作成の補助や、調査、施工後の写真撮影など、毎年約100件の申請手続きを行っています。



修繕の対象者は次のすべてに該当する方

1 区内在住で世帯全員が70歳以上の方、または身体障害者手帳2級以上をお持ちの方がいる世帯の方。



世帯全員が70歳以上

身体
障害者
手帳

2級以上

2 住宅を所有している方、または修繕について家主の承諾を得ることのできる賃貸住宅(公営を除く)にお住まいの方



会計監査
浜本 義信さん

事務局
川澄 圭一さん

POINT 1
高齢者や障害者の方を対象に、住宅の無料修繕を実施

POINT 2
区との協働事業で、庁舎の敷地内に修繕の臨時受付窓口を設置

POINT 3
地震に備える家具の転倒防止に関する補助金申請の窓口業務を実施

水元地域の
バス交通充実

バス路線の新設

&
バス利用者用駐輪場の設置



バス路線の新設
(バス社会実験)



サイクル&バスライド
(バス利用者用自転車駐輪場)



ド)を、バス会社として区内で初めてバス車庫内に開設しました。この駐輪場の利用者も増加しており、バス交通の利便性の向上と利用促進に役立っています。

その他、乗務員に異常が発生した際などの緊急時に、乗客がバスを停止できる非常停止ボタンを搭載した新型車両を導入し、さらなるバス運行の安全・安心に力を入れています。

東武バスセントラル株式会社は、区と協働し、新規バス路線とバス利用者用自転車駐輪場(サイクル&バスライド)を水元地域に開設しました。

新規バス路線は、水元総合スポーツセンターと亀有駅北口、綾瀬駅を結ぶ2路線で、スポーツセンターのオープンに合わせ、平成30年1月から3月まで「バス社会実験(新規路線の検討にあたって、実際にバスを運行して需要を確認する取り組み)」として実施。スポーツセンター利用者のほか、通勤や通学、駅周辺での買い物利用者の需要も確認できたことから、東武バスセントラルの自主運行路線として、同年4月から本格運行となりました。

また、令和元年10月には、「葛飾車庫」バス停の近くにバス利用者用の自転車駐輪場(サイクル&バスライ



葛飾営業所 助役 木村 信洋さん
運輸統括部 業務課 須藤 大貴さん
運輸統括部 業務課 主任 松木 猶志さん

新路線は「亀有駅前の商業施設へ行くのに便利になった」などと好評です

区の働きかけで行ったバス社会実験は、どれだけ需要を掘り起こせるか未知数でしたが、区との協働が実り、本格運行に至りました。新路線は好評です。「亀有駅前の商業施設に行けるので、便利になった」「交通弱者の足が確保された」などの声を相次いでいただき、我々も地域のお役に立てていると実感しております。

便利だからもっと本数を増やしてほしい、という要望もあります。バスは1~2年で結果を出すのは難しく、長い目でバス路線の成長を見守り、需要と供給を勘案しながら検討したいです。

バス停を新たに設置するにも、警察の許可や地元の方々のご理解が必要なので、区と相談しながらやっています。

バスなどの公共交通機関は、安全安心が当然です。運転手はミラーで車内を確認しながら、道路上の車などを見て運転しないとイケません。一瞬の気のゆるみが重大事故につながるの、大きなプレッシャーがあります。大変な仕事ですが、重要な区民の足として安全・安心な運行に努めたいです。



葛飾営業所 所長 多田 聡さん

POINT 1
バス事業者と区によるバス交通充実に向けた協働事業

POINT 2
新路線開設につながったバス社会実験

POINT 3
サイクル&バスライド(バス利用者用自転車駐輪場)を東武バスの車庫に開設

視覚障害者を支える

話題の本
絵本などの

点訳ボランティア



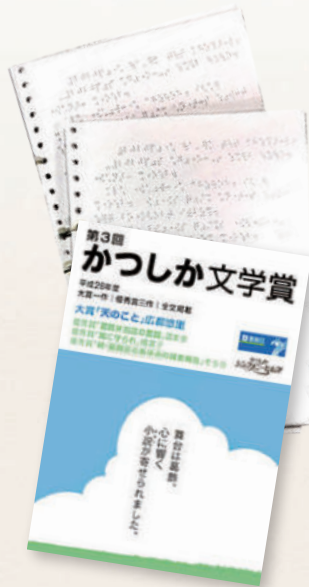
区立中学校で行った
点訳出前授業



中学生も初めての点訳に
一生懸命取り組んでいた

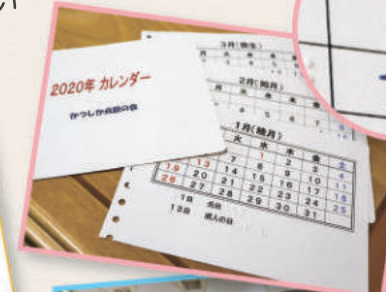


かつしか点訳の会は視覚障害者などの依頼を受け、本やパンフレットの文字を点字に変換する点訳を行い、その普及に努めています。会では毎週火曜日に例会を開き、視覚障害者・団体をはじめ、社会福祉協議会の「社協だより」や図書館の「アイ・リップ通信」などの定期的な発行物を、依頼により点訳しています。



また、自主的な活動として「かつしか文学賞」など区に関するものや、個人から依頼のあった昔話、話題の本、

そしてカラオケの歌詞などにいたるまで、11人のメンバーが手分けして点訳しています。毎年作成する点字カレンダーは、視覚障害者にとっても人気があるそうです。活動は他に、区内の小・中学校の子どもたちに、会員が講師となり点訳とはどういうものかなど「書く」「読む」を体験してもらう出前講座を行っています。



視覚障害者団体の
カラオケ大会に協力



小学生に点字を学んでもらう、夏休み点字教室

葛飾商業高校での点字学習では、中央図書館に寄贈する点字つき絵本を作りました。生徒たちは、初めて体験する点訳に苦労しながらも一生懸命取り組みました。さらに、中央図書館主催の「夏休み点字教室」に協力するなど、会員たちは点訳の普及啓発に力を注いでいます。

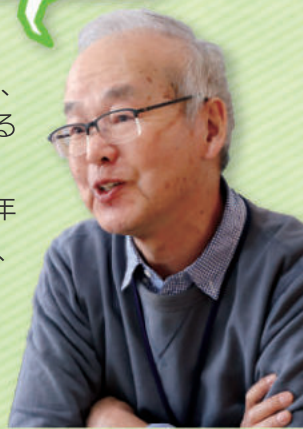
感謝の電話1本で、達成感というか、報われる気持ちですね

今、取り組んでいるのは600曲くらいのカラオケの歌詞で、視覚障害者の皆さんが集まって歌うそうです。中央図書館からの絵本10冊と一緒に、会員が手分けして作っている最中です。

活動の反響ですか？ 依頼された方に直接手渡すケースは少なく、点字郵便物で送ると、電話をかけてくれて「ありがとうございます」って感謝されることもあります。それを会の皆さんに伝えると、もちろん嬉しいですね。感謝の電話1本で、やっていて良かった、そんな達成感というか、報われる気持ちですね。

毎月、「献立表を点訳してください」と依頼してくるところがあって、使ってくれているというのが分かるから、これはやりがいがあります。

今、点訳者が少ないんです。20年以上の活動で会員の高齢化に伴い、体調や介護・看護などの事情を抱えながら何とか乗り切っていますが、点訳者を目指す方がもっと増えて欲しいですね。今後も「点訳してください」と言う人がいる限り、点訳者は必要ですからね。



会長 中里 隆二さん

POINT 1
視覚障害者や図書館などの依頼で、点訳物の作成

POINT 2
区内小・中学校での点訳の出前講座

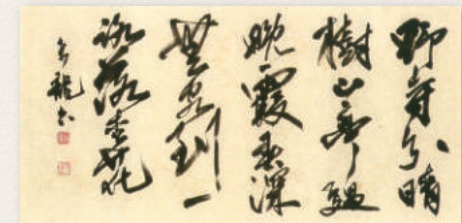
POINT 3
小学生対象の「夏休み点字体験」イベントを実施

書道芸術を区民が楽しむ



書のパフォーマンス
席上揮毫(せきじょうぎこう)

葛飾現代書展実行委員会は、中央書壇で活躍する区内在住や、区にゆかりのある書家たちによる「葛飾現代書展」を開催、文化芸術の振興に寄与しています。



令和元年11月に開かれた第12回葛飾現代書展は、オープニングセレモニーに青木区長が出席、テープカットを行いました。会場には、この展示会の顧問を務め亡くなった先生方の「顧問遺墨作品」をはじめ、様々な書風の作品が並び、会期中の6日間で約2400人近くが来場。来場者は区内近隣の方にとどまらず、遠方からも足を運ぶ方々もいるほど、現代

「いろんな書があって楽しい」などの声は、普及の励みになります

葛飾区の書道連盟は、都内で2番目に古いんです。以前は大家がたくさんいました。そうした伝統を守りつつ、盛大に充実した展示会を開いています。今年も「顧問遺墨作品」を展示しています。

展示会には、書道関係者の来場が多いのですが、書道をしていない方も来場していただき、刺激を受けているようです。

「いろんな書があって見ていて楽しい」とか、「自分も書いてみたい」などと一般の方の反応があると展示会を開催して良かったという気持ちになりますね。

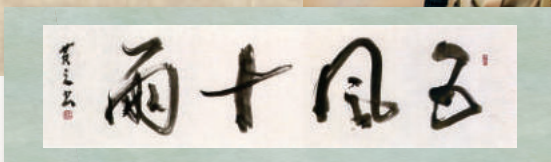
書の意味を分かりやすく解説するギャラリートークも好評です。

今、パソコンの普及で書く機会が減っていますよね。私達はもっと書いてもらいたいという思いで、6日間の展示期間中、親子書道教室を開いています。親子連れの方たちは、皆さん楽しんでやっていますよ。

そうした光景をみると、書の普及に一段と力が入ります。



委員長 二宮 奇龍さん



書展の名が知られるまでになっています。



ワークショップ
書の書き方講座

席上揮毫や作品の解説をする「ギャラリートーク」、「親子書道教室」、「消しゴム印を作ろう!!!」などのイベントが開かれ、訪れた人々は書道芸術の楽しさや、素晴らしさにじかに触れる機会を楽しみました。

この現代書展は、区文化施設指定管理者が共催者となり、会場提供の他、パンフレットやチラシなどの広報面を担っています。



作品の解説をする
ギャラリートーク



第12回 葛飾現代書展
オープニングセレモニーには
青木区長の姿も...

POINT 1

伝統ある第12回葛飾現代書展を開催

POINT 2

亡くなった大家たちの「遺墨作品」を展示、ギャラリートークなどを開催

POINT 3

区文化施設指定管理者が共催

昔の歴史 酒造り
米作り を後世に...

これは
美味しい!

特別
純米酒
葛飾の花

酒の仕込み
酒造道具を
洗浄する



葛飾酒作り本舗は、区の酒造り・米作りの歴史を後世に継承するため、区と防災協定を結ぶ福島県塙町の協力で本格的な酒造りに取り組んでいます。

特別純米酒
葛飾の花
シリーズ



酒作り本舗の会員は66人(令和元年5月現在)で、年に5〜6回、福島県の塙町に出向き、種まき、田植え、草取り、稲刈り、脱穀、酒の仕込みなどの作業を、地元の町民と一緒にしています。

町民との交流も活発で、地域間交



田植え



酒の仕込み 摺入れ作業

流を推進しています。醸造された日本酒は、「特別純米酒 葛飾の花」と名付けられ、区内の祭りなどで販売されるほか、区のふるさと納税の返礼品にもなっています。旨口で切れのある味わいで、区内の祭礼などで奉納されたのを見て、取扱い店へ買いに来るといふファンもいます。

稲架(はざ)を作り
刈った稲穂を干します



こんにゃく作り教室



草取り

酒造り以外でも、塙町の糀を使った「塩糀作り教室」や、「こんにゃく作り教室」を開催しています。毎回、定員の倍以上の応募がある大人気の講座です。



塩糀作り教室は
毎年大好評です



ドキドキお楽しみ
新酒完成披露



高齢でも自分が興味のある田んぼの作業は、皆さん体が動きません(笑)

田植えの体験は、会員の皆さんとっても楽しみにしています。ふだん、土をいじってませんしね。1人5列ぐらい手植えをするんですが、転んだり、尻もちをついたり、泥だらけになりながら、面白がっています。

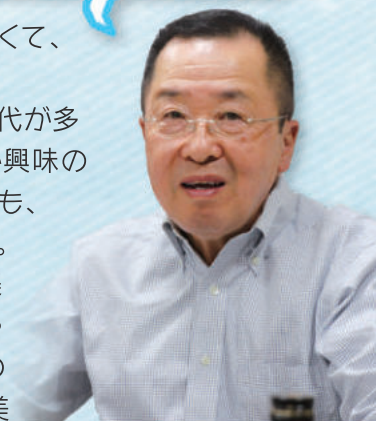
特別純米酒の「葛飾の花」は、とても評判がいいんです。実は、平成24年に、酒米を美山錦という銘柄に代えて酒造りをしていましたが、お米で酒の味が、こんなに変わるのかと思うほど、美味しいです。

「なぜ粒々したお米が、きれいな液体のお酒になるのか」とか、会員の皆さんは、造

る過程に携われるから面白くて、そこに魅力を感じています。

会員の皆さんは、40〜60代が多いんですが、高齢でも自分が興味のあることは、田んぼの作業でも、元気よく体を動かしています。

塙町の皆さんとの交流も楽しいですよ。名産のこんにゃくで作った煮物とか、山菜の天ぷらなど田舎料理がまた美味しいんです。それをいただきながら、交流を深めています。



会長 曾根 誠志さん

POINT 1

福島県塙町の協力で、酒造り・米作り体験

POINT 2

「特別純米酒 葛飾の花」を、区のふるさと納税の返礼品に選定

POINT 3

塩糀作り、こんにゃく作りの体験教室を開催

誰でもできる



スポーツ

普及を目指すスポーツ推進委員



かつしかスポーツフェスタ
ティバルで綱引きヨイショ!



子どもまつり 輪投げ



ウォーキングイベントで全員集合!
※新しく令和元年度から11月に実施!

葛飾区のスポーツ推進委員は、区内を7つのブロックに分け、体育団体や地域から選出、一人一人が教育委員会から委嘱されています。また、より効率的にスポーツ事業の企画・コーディネートを進めるために、スポーツ推進委員協議会を構成しています。

主な活動として、地区ロードレース大会や学校行事への協力の他に、子どもまつり、体力テスト、ボッチャ※1交流大会、かつしかスポーツフェスティ



こやのエンジョイくらぶ
スポーツフェスタ
ラダーゲッターコーナー

バル、ウォーキングイベント、かつしかふれあいRUNフェスタなどの事業に従事しています。

また、これまではグラウンド・ゴルフ※2やボッチャ、現在はラダーゲッター※3といったニュースポーツの普及に取り組みながら、区のスポーツ推進計画の企画立案などにも参画し、区民の声を反映したスポーツ推進を図っています。

※1) ボッチャ：パラリンピックの正式種目。白いジャックボール(目標球)に、赤・青各6球ずつのボールを投げたり、転がしたりなどして、いかに近づけるかを競う。

※2) グラウンド・ゴルフ：高齢者向けに考案されたスポーツ。専用の用具を使い、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールインするまでの打数を数えます。

※3) ラダーゲッター：両端に重りがついたヒモをラダー(はしご)に向かって投げ引掛ける競技。



ニュースポーツを普及することで、活動の歴史に残せて嬉しいです

私たちスポーツ推進委員は、子どもたちから高齢者の皆さんまで無理なくできるニュースポーツを広めたい、と考えています。「ボッチャ」は、6年前から取り組み、区との協働により大会を開催し、人が集まるようになってきました。興味があるので、もっと楽しみたいという方も多いです。「ラダーゲッター」は、今、スポーツ推進委員が遊び方などを研修中で、令和2年の子どもまつりでは、子どもたちに参加を呼び掛けてやってみたいと考えています。「グラウンド・ゴルフ」は、高齢者などを対

象に何回か大会をやっていますが、やってみると面白いと評判です。ルールが簡単で楽しめるという声をたくさん聞きます。これまでインディアカ、グラウンド・ゴルフ、ボッチャと3つのニュースポーツを、組織化するまで普及してきました。組織ができるまでの活動を推進委員が推し進めたので、自分たちの活動の歴史に残せて嬉しいです。



会長 関 隆男さん



関東スポーツ推進委員研究大会 東京大会に参加



体力テスト

POINT 1
スポーツ活動の企画・コーディネート

POINT 2
区のスポーツ推進計画の企画立案に参画

POINT 3
ボッチャ交流大会など、ニュースポーツの普及活動

スポーツ団体が勢ぞろい！
総合開会式 & ジュニア・シニア スポーツ教室



共栄学園中学高等学校
バトン部

エンジョイスポーツ実行委員会は、毎年5月に奥戸総合スポーツセンターで開催される「エンジョイスポーツ総合開会式」を、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営しています。

総合開会式では、ジュニアスポーツ団体とシニアスポーツ団体が17団体、約4000人が大人も子どももユニフォーム姿で大行進します。実行委員会は、きれいに整列・行進できるように選手への誘導や招集、受付などを行います。

開会式後は、サッカーや野球、バレーボールなどのジュニアスポーツ



野球やサッカー教室などでの、子どもたちの笑顔が忘れられません

今回のエンジョイスポーツ総合開会式は参加団体が多く、入場行進では、「いかにきれいに整列するか」、「いかに乱れずに行進するか」などに気を遣いました。でもスポーツをやっている子どもたちなので、日頃コーチの皆さんなどに鍛えられているのか、ちゃんとやってくれました。ただ、入場行進の隊列がちょっと片寄ってしまったので、反省しています。次回はもっとうまくできるように頑張ります。

野球教室やサッカー教室などが始まった時の、子どもたちの笑顔は忘れられま

せん。見ていて嬉しかったです。教室には、バレーのヨーコ・ゼッターランドさんや、サッカーの北澤豪さんなどテレビでよく見る有名人も来てくれたので、子どもたちは大喜びでした。

39のスポーツ団体のノウハウを取り入れ、(一社)葛飾区体育協会や葛飾区体育施設指定管理者、そして区の連携により、こうした大きな大会ができるのは、まさに協働のチカラですね。



委員長 高橋 尚美さん



総合開会式
約4,000人が
元気に入場行進!



バレーボール教室

元バレーボール選手
ヨーコ・ゼッターランドさん



バスケットボール教室



サッカー教室

元サッカー選手 北澤豪さん

ジュニア
スポーツ
教室

20名が本番の運営にも参加しています。

サポート活動で大切なのは、スムーズな運営で、本番当日までに2回、協議をしています。

また、入区2年目の職員を対象とした「協働研修」を実施しており、

教室を、一流アスリートの講師を迎えて開催しています。また、シニア向けのグラウンド・ゴルフや社交ダンスなどの教室も大盛況で、令和元年は、延べおよそ2500人が参加しました。実行委員会は、ここでも受付や誘導などを行い、参加する子どもや高齢者が楽しめるようサポートしています。



総合開会式



ジュニアとシニアが
そろって開会宣言

選手宣誓

区が主催する「エンジョイスポーツ総合開会式」を運営

サッカー、野球などジュニア・シニアスポーツ教室を開催

(一社)葛飾区体育協会・葛飾区体育施設指定管理者・区の協働事業

釣れた!



親子で楽しむ

葛飾区子どもつり大会

子どもたちは水辺の生物に興味津々



エサのつけ方が分からない子どもたちに教えています



景品のジュースを配布



特定外来種生物などをパネル展示



理事長 稲川 正雄さん

葛飾区釣友連盟は、観光協会、区と協働して、子どもたちに正しい釣りマナーを教え、環境の美化と水元地域の観光振興を図ることを目的に、毎年4月に「葛飾区子どもつり大会」を開催しています。

第64回目となった平成31年度の大회는、参加者が1200人にのぼり、貸出用の竿が足らず順番待ちする子も出てくるなど、大いに賑わいました。

大会当日は、早朝から、釣友連盟の会員約30名が、釣り竿の仕掛けやエサなどを準備し、釣りのマナー資料の配布などを行いました。

また、参加者の中には、釣りの経験

連盟でいちばん若い人は70代(笑) 若い人とも一緒に活動したいです

今の時代、釣りなんかやったことないという子どもたちが多んですよ。子どもたちはもちろん、保護者のお母さんたちも、エサの赤虫を気持ち悪がっちゃって(笑)。

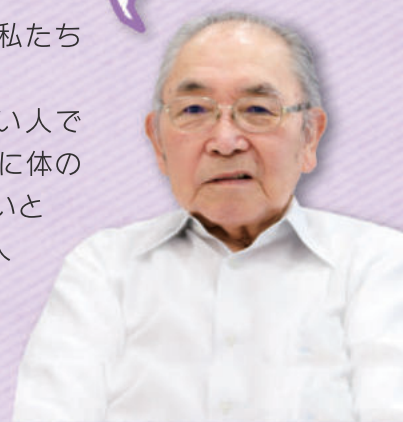
エサのつけ方がわからない人が多いです。相談コーナーをつくって、赤虫をつける方法を教えています。針でケガをしないように、スライスした大根の上でエサを付けているんですよ。

子どもたちが楽しそうに釣っている

のを見ると微笑ましくて、私たちがやりがいを感じますよ。

連盟では、いちばん若い人で70代です(笑)。イベント時に体の具合が悪いので出られないという人もいますので、若い人に入ってもらって一緒に活動したいですね。

長く続いている大会なので、この先も続けていきたいですからね。



会長 坂入 清さん

がない子どもやエサの虫を触ることのできない子どもも多く、釣友連盟の会員がエサをつけてあげるなどサポートしました。そのかいあってか、フナやモロコ、ブルーギルなど、多くの魚が釣り上げられ、会場内の水槽に展示されました。

釣友連盟は、子どもつり大会以外にも、「ザリガニ釣り」や「凧揚げ」などのイベントにも参加しています。

POINT 1

葛飾区子どもつり大会の開催

POINT 2

ザリガニ釣りや凧揚げなどのイベントに参加

POINT 3

釣友連盟、観光協会、区の協働事業

昭和56年から続く
協働の先駆け

今も人気!

亀参まつり



亀有学び交流館利用団体協議会の皆さん!



亀有学び交流館
利用団体協議会は、
団体間の交流を目的
に、毎年、楽しいイベ
ントや親睦旅行を
行っています。

毎年6月に開か
れる「亀参まつり」
は、葛飾吹奏楽団
による生演奏やダ
ンス、歌の発表、模
擬店など盛りだ
くさんのイベントが催され、会場とな
る亀有学び交流館は大賑わいです。

また、近隣の小・中・高等学校の生徒
たちがプラスチックバンドの演奏や野菜の
販売などを行うとともに、運営補助の
ボランティア活動にも参加しています。
令和元年は、2日間で3000人の家

参加団体は上下関係がなく、積極的にまつりを盛り上げてくれます

亀参まつりの「参」という字は、みんなで
「参」加しましょうという意味もあるんです。
このイベントは、参加団体が実行委員会
になって、準備とかいろいろ積極的にやっ
てくれます。自分たちがやるもんだと思っ
て、まつりを盛り上げてくれるんですね。
この活動が長く続いているのは、区の生
涯学習課が応援してくれている部分はあ
りますが、参加してくれている皆さんが、
上下の関係がなく、平等だということに
あると思います。
それぞれの意見を尊重して、その意見

が良ければ「それをやりましょ」って
なる。イヤな感じがした!っていう人は
今までいないんじゃないかと私は思
います。
地域のみんで参加して、盛り上げ
てくれている、そんな感じですよ。
この長く続いているイベントを、
この先どうつないでいくか、が
課題です。ここで育った子ども
たちが、願わくば、40代、50代
になっても、その流れが続いて
いるといいなあって思います。



会長 間瀬 澄子さん



模擬店を満喫!



生演奏に聞き惚れる
葛飾吹奏楽団コンサート



迫力の居合術



フルート演奏♪



生け花展示



コマ遊び



副会長 浦山 太市さん



POINT 1
区と協働し、亀参まつりを
企画・運営

POINT 2
研修旅行・親睦旅行など
を実施

POINT 3
亀参初あそびなどの
独自イベントを開催

地域ぐるみで
おもてなし

かつしかふれあいRUNフェスタ 参加者に



堀切商店連合会は、「かつしかふれあいRUNフェスタ」の参加者におもてなしのサービスを行い、地域を上げてイベントを盛り上げています。



参加者が降り立つ堀切
菖蒲園駅頭でお出迎え

RUNフェスタは、堀切水辺公園をメイン会場に毎年3月に行われ、誰もが楽しめるふれあい健康RUN（1.3・5キロメートル、ファミリーRUN 2キロメートル）と、記録を楽しむチャレンジRUN（10キロメートル・ハーフ）が行われ、参加者や応援の人々約1万人で賑わいます。

「地元とふれあえて、この大会はあったかいな」と賞賛されています

RUNフェスタのおもてなしは、参加者が電車を降りる堀切菖蒲園駅から始まります。商店連合会のスタッフが駅頭に立ち元気に、「おはようございます」などと挨拶の声掛けをするんです。

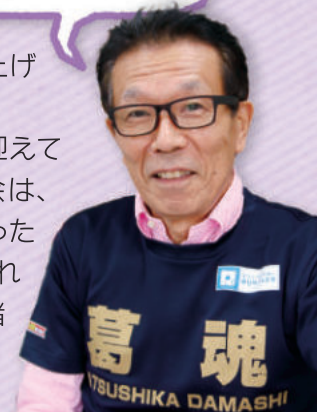
特に活気があるのが中間にある甘酒やホットウーロン茶コーナーで、元気いっぱいの婦人部隊が普段から発声練習して、ランナーさんたちをお迎えしています(笑)。

お店の割引サービスとか、甘酒などの無料サービスもやっています。そんなおもてなしで、地元との一体感をつくり出し、何よりも笑

顔や、声を出すことで大会を盛り上げようという気持ちが強いんですね。

参加者からは、「朝から元気に迎えてもらって驚きです」とか「この大会は、地元の方たちともふれあえて、あったかくなって感じました」と賞賛されています。商店会の人たちも一緒にやっているんだということが伝わっているんですね。

大会名は「かつしかふれあいRUNフェスタ」ですが、心の中では「堀切ふれあいRUNフェスタ」ですよ(笑)。



ラッキー通り商店街 会長
岩崎 修さん

堀切商店連合会は、RUNフェスタ実行委員会のメンバーで、主に堀切菖蒲園駅から会場の堀切水辺公園までの誘導・案内や、参加者・応援者がナンバーカードを提示すると受けられる飲食代の割引サービス、また要所に甘酒やホットウーロン茶コーナーなどを設け、参加者・応援者の行き



堀切商店会・RUNフェスタ
応援隊の皆さん

帰りまで、手の込んだおもてなしのサービスを行っています。

連合会は、こうした独自のおもてなしでイベントを地域ぐるみで盛り上げており、RUNフェスタは、イベントと地域の一体感などが評価される「全国ランニング大会100撰」に選ばれています。



参加者の皆さん

甘酒やホットウーロン茶の無料サービス♡



力強い和太鼓の演奏でランナーを鼓舞



京成電鉄の駅員さんも協力!



POINT 1

RUNフェスタ参加者の誘導・案内

POINT 2

参加者に飲食代の割引サービス、甘酒やホットウーロン茶を無料提供

POINT 3

地域の一体感などが評価され、「全国ランニング大会100撰」に選出

防災と音楽に集う！

細田四町会が紡ぐ地域の絆



ウクライナの歌姫、ナターシャ・グジーさんもコンサートに出演



大人気!!
カレーの炊き出し



細田一丁目、三丁目、四丁目、五丁目町会は、地域の安全・安心を守るため、様々な団体と共に、地域交流イベントを開催しています。

令和元年11月に開かれた「細田ふれあい祭り-絆-」は、午前中に防災イベント、午後はプロの歌手も出演する音楽コンサートの2部構成。そして火災時の煙からいかに速く脱出できるか疑似体験ができて、子どもたちに大人気、あつという間に整理券が無くなりました。

会場には、綿あめやポップコーンなど無料のミニ露店が出現、中でも水やお湯ですぐに炊き上がるアル



はしご車体験

ファ化米を使ったカレーの炊き出しには行列ができ、1500食が2時間ですべてなくなりました。

また、AEDや消火器の使い方を習う講習会も開かれました。

午後の音楽コンサートでは、細田小学校の金管バンドやプロの演奏家、演歌歌手などが出演し、訪れた親子連れなどに好評でした。

細田四町会が合同で企画し、地域の様々な団体と協働して取り組むイベントで、メンバーたちは絆づくりを進めています。

最近では町会の人々の顔もわかって、声をかけ合う機会も増えてきました

私たちのイベントは、何よりも人を集めることに努力しています。特に、子どもたちとお年寄りに来てもらい、楽しんでほしいんです。お土産を用意してね。

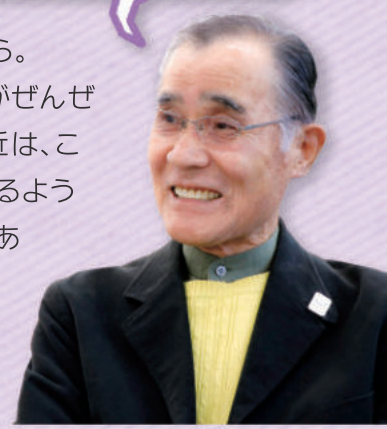
また、イベントで出すポップコーンや綿あめなどは、絶対にお金は取りません。

AEDの体験には、中・高校生が熱心に参加してくれました。それを見て、「これは戦力になるな」と思いました。災害の発生時には、救命具の使い方を知っている

人が多いほうが安心ですから。

以前は、町会の方でも顔がぜんぜんわからなかったのが、最近はこの活動のおかげで顔がわかるようになりました。「あつ、おばあちゃん元気？」などと、気軽に声をかけられる人たちが増えてきました。

この活動は、ずっと続けたいですね。



細田三丁目町会
会長 月村 富次さん



副会長 兼 会計 中村 桂子さん / 筆頭副会長 中野 不二男さん

細田小学校
金管バンド部の演奏



POINT 1
「細田ふれあいまつり-絆-」を開催

POINT 2
細田小学校をはじめ近隣の小中学校、消防署などが参加

POINT 3
4つの町会と地域の団体などが協働し、取り組むイベント

ズラリ 葛飾区認定製品

ミライテラスをテラス 逸品揃い



伝統工芸「東京手描友禅」



洋生菓子



色鮮やかな「印伝」



葛飾元気野菜「元気くん」



葛飾区一店一品
認定商品も大集合



業種が一堂に集まり、会場は大変盛り上がりがあります。
普段、消費者と直接ふれ合うことが少ない出店企業は、来場者の生の声をビジネスに役立てています。また、来場者には、今まで知らなかった地元企業を知ることができると好評です。テレビなどにも取り上げられ、「葛飾区認定製品」の認知度向上につながっています。



「江戸べっ甲」の根づくり体験も!

葛飾町工場物語認定製品が大集合!



葛飾元気野菜の直売



出店者も来場者も“みんなで地域を盛り上げよう”の気持ちです

ミライテラスは、葛飾にはこんな事業者がいるんだ、ということを知ってもらういい機会なんです。

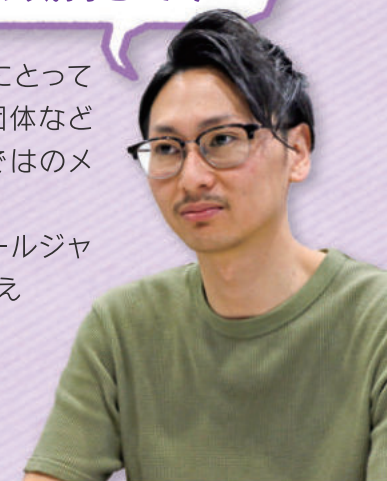
例えば展示会などに一事業者で出展すると、人を派遣するのも限界があったり、多額のお金がかかったりするので大変です。

ミライテラスの出店者は、利益ではなく、周知や地域貢献を目的にしています。「広報から誘導、販売などをサポートしてもらえるので、すごく助かります」という

声を頂いています。出店者にとっては、区や商工会議所、事業団体などが連携した協働事業ならではのメリットがありますよね。

工業や商業、農業などオールジャンルの葛飾ブランドに出会えるのはこのイベントしかありません。

みんなで地域を盛り上げよう!の気持ちで会場いっぱい広がっています。



第13回座長 富田 成昭さん

区認定製品の販売会開催

工業や伝統工芸、商業などの業種が勢ぞろい

製品の販売やものづくり体験を実施

令和元年度実地研修の内容

花いっぱいのもちづくり



事前ガイダンスで花いっぱいのもちづくりについて理解を深めたうえで、活動者と一緒に花壇の手入れを行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

活動団体 ● 松南の森プロジェクト

かつしか区民大学(農業応援サポーター養成講座)



区民大学講座を企画検討している活発な議論の場(区民運営委員会)に参加し、区民大学の基本を学んだうえで、講座を修了し活動をしているサポーターや千葉大学の学生、講座に参加している区民と一緒に種まきなどの農作業を行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

活動団体 ● 区民運営委員会(公募により決定した区民運営委員が区民大学の講座の企画や運営を行う委員会)
● 農業応援サポーター(講座修了者) ● 千葉大学学生(講師) ● 講座参加者

エンジョイスports2019総合開会式



事前ガイダンスで区のスポーツ事業について理解を深めたうえで、各スポーツ連盟・協会の方と一緒に、エンジョイスports2019総合開会式及び各スポーツ教室の当日運営を行いました。

活動団体 ● (一社)葛飾区体育協会

ふるさと葛飾盆まつり2019



事前ガイダンスでふるさと葛飾盆まつりの趣旨や内容を理解し、盆まつり当日の運営スタッフとして参加しました。練り歩き参加者の受付やプラカード対応、送迎バス対応など、様々な場所で従事しました。

活動団体 ● 葛飾区自治町会連合会

問い合わせ

人材育成課

電話 03-5698-2611

採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!!

目的

葛飾区では、新人から管理監督者までの職員を対象に、協働意識の醸成を図る研修を実施しています。特に、採用2年目の職員は実地研修を通じて、協働についての学びを深めています。

これは、区内の団体や企業などが活動する現場に赴き、活動されている皆さんと同じ作業を行い一緒に汗を流すことで、皆さんがどのような思いを持って活動に携わっているのかを肌で感じ、その体験を今後の仕事にどう活かしていくかを考えていくものです。



内容

① 導入研修

協働について理解を深め、本研修の目的や学習テーマを明らかにする。

② 実地研修(区内活動団体などへの派遣)

団体などが活動する現場に赴いて区民の声を直接聞くことで、協働のパートナーに対する理解と知識を深めるとともに、区の現状と課題を知る。

③ 振り返り研修

これまでに学習したことを自らの仕事の中で活かすため、個々の体験や学びを共有するとともに、体験の意味を明らかにし、協働に対する意識を更に高めていく。

研修生の感想

区と団体が一体となって、同じ目的を持って取り組んでいるのを肌で感じました。

区民がやりがいを持ち、活躍できる場を提供することが、職員にとって必要だと感じました。

葛飾区公式協働ホームページ

葛飾みんなの協働サイト

登録団体
募集中!



葛飾みんなの協働サイトとは…

葛飾区では、区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者などのみなさんが情報発信会員として団体登録し、団体自らが活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる、「葛飾みんなの協働サイト」を、平成29年に開設しました。

ホームページを持たない団体でも、このホームページに会員登録し、活用いただくことで、広く情報発信をすることができます。

区では、情報発信会員として登録を希望する団体を募集しています。

登録を希望する団体や、このホームページについて知りたい方は、葛飾みんなの協働サイト (<https://kyoudou.city.katsushika.lg.jp/>) をご覧ください。



葛飾区職員出前講座のご案内



職員 出前講座とは…

区では、かねてよりさまざまな方々によって、地域を良くしようとする活動が行われてきました。区民・事業者の皆さんと区が「協働」することで、こうした活動を一層素晴らしいものにすることができます。

協働するためには、まず区の現状や取り組みなどの情報を共有することが大切です。

葛飾区職員出前講座は、区職員が皆さんの地域に伺い、区の現状や取り組みについてお話しするものです。



さまざまな講座をご用意しています。どうぞお気軽にご利用ください。講座一覧を掲載しているパンフレットは、区役所、区民事務所、地区センター、図書館で配布しております。

パンフレットは、区公式ホームページ(<http://www.city.katsushika.lg.jp/>)でもご覧いただけます。

協働のまち葛飾

下町山柳コンクール

葛飾区では、みんながごときばの力で、繋がり、助け合い、葛飾愛を深める！
 そうした思いを込めて、川柳コンクールを行っています。
 葛飾の魅力が詰まった川柳を紹介します！

第1回（平成29年度）
 テーマ **ふるさと葛飾**

第2回（平成30年度）
 テーマ **カ(ちから)**

一般の部

区長賞
 寅さんと 同郷ですと
 胸を張り
 新実 千秋

葛飾川柳連盟会長賞
 葛飾の 音と匂いの
 町工場
 きよやん

特別賞
 ランフェスタ 菖蒲見守る
 ほりきりん
 川井 康弘

中学生の部

区長賞
 江戸切子 職人達の
 技光る
 伊藤 陽一

教育長賞
 ねえ寅さん 女もつらいの
 最近は
 内藤 日菜

葛飾川柳連盟会長賞
 下町の 力あふれる
 葛飾区
 大塚 杏奈

小学生の部

区長賞
 かつしか区 明日へ一歩
 おいている
 有馬 衣風

教育長賞
 機械音 響く下町
 葛飾区
 ぶーちゃん

葛飾川柳連盟会長賞
 つりさんぽ 水元公園
 ぼくの にわ
 鬼塚 音弥

一般の部

区長賞
 プレス踏む ミニ工場の
 底力
 幸村

葛飾川柳連盟会長賞
 おむすびの 力加減も
 味のうち
 日笠 よし子

特別賞
 力では なぜ開かない
 恋の蓋
 田中 祥元

中学生の部

区長賞
 町中に 和太鼓ひびく
 夏祭り
 深澤 莉奈

教育長賞
 深海も 探検できる
 技術力
 権田 美凜

葛飾川柳連盟会長賞
 機械音 職人達の
 技光る
 馬場 奏流

小学生の部

区長賞
 ねじ一本 社会つなげる
 力あり
 奈良 悠瑚

教育長賞
 つなげたい 活力の町
 ぼくたちが
 上村 空澄

葛飾川柳連盟会長賞
 お年寄り 畑仕事も
 力あり
 東京 杏奈

第4回（令和2年度）の応募に関する情報は、
 令和2年夏頃公表予定です。
 詳細については、区公式ホームページ
 (<http://www.city.katsushika.lg.jp>)をご覧ください。

●入賞・入選作品は、区公式ホームページで公表されるほか、
 区役所総合庁舎2階の区民ホールや地区センターにて展示されます。
 ●第3回（令和元年度）のテーマは「祭り」で実施されました。

